

あなたの税金は、

安心して暮らせる
田舎な暮らしを
つくりたい。

今年も11月11日から17日までの「税を考える週間」の期間中、全国各地でPR活動が展開され、本町でも各戸訪問による納税啓発や「標語入り看板」の設置、税に関する書道の作品展示など様々な行事が行われました。



《臨戸啓発 10日》

町商工会・青色申告会・法人会積丹地区会、町納税貯蓄組合連合会などから計22人が5班に分かれ、余別地区を各戸訪問し、「納期内完納にご協力をお願いします！」と声をかけ、パンフレットなどを配付して税金の大切さをPRしました。

また当日は、余市税務署員も激励にかけつけていただき、一緒に啓発に参加されるなど、より有意義な活動となりました。

《小・中学生の「税に関する書道」作品展示》

「税に関する書道」は、小学校の租税教育推進の一環として、北後志地区納税貯蓄組合連合会が主催し、この週間に合わせて催されるもので、毎年北後志5か町村より多数の応募があ

り、本町からも96人が応募しました。

その結果、町内から6人が見事入選を果たし、優秀作品として北海道信用金庫本店ロビーに展示されました。

また、各学校より推薦のあった作品38点と入選作品6点は、11月27日から12月1日まで、美国家郵便局に展示されました。なお、入選作品については、次のとおりです。

〔銀賞〕

杉野 桂梨さん(美国小4年)

〔銅賞〕

阿部 有華さん(美国小2年)
吉田 拓海くん(日司小2年)
三国 恭平くん(野塚小3年)
亀石紀々香さん(美国小5年)
佐藤しいなさん(美国小6年)

告

町税の収納対策を強化しています ～ 納税に対するご理解・ご協力を～

町税の滞納がある方へは、これまでも催告通知や訪問徴収を行ってきましたが、対応をより一層強化し、滞納額の解消を進めています。

今年度は町道民税を納めていただくことを重点に、納税できる収入があるにも係わらず滞納している方に対し、徴収権を北海道へ引継ぎ、財産（預貯金・給与など）の差押えを実施しています。10月には8人の方の財産の差押えが行なわれ、滞納税に充てられました。

今後は、固定資産税や国民健康保険税（国保税）なども含めた、町税全般の滞納税を納めていただくことを目指し、町が同様に財産の差押えを行うこととしています。

また、11月には国保税を滞納している方のうち、12人に対し保険証の返還を求める通告書を発布しました。

国保税の滞納がある世帯に対しては、今後は短期被保険者証や資格証明書の交付などの措置を行なうこととしています。

皆さまの納税に対するご理解・ご協力をお願いします。

【町 税 務 課】



第36回 積丹町文化祭

積丹町文化祭実行委員会（大橋正雄委員長）の主催による平成18年度の積丹町文化祭が、総合文化センターを会場に開催されました。

今回で36回目を迎える今年の文化祭は、展示の部が11月2日から4日まで総合文化センターで行われ、保育園児や小中学生、一般の方々まで、たくさんの町民の皆さんから寄せられた書道や俳句、陶芸や写真など565点の力作が展示され、期間中498人の方が訪れました。また3日には同センターで茶道展やバザーも行われ、いずれも賑わいを見せていました。

芸能の部は、11月11日に開催され、町内各地区の婦人会やカラオケ愛好会による歌や踊り、美国中学校吹奏楽部や詩吟愛好会などが日ごろの練習の成果を披露、また今年は札幌市や小樽市から地元出身者などの出演もあり、トランペットによるジャズ演奏やギター演奏もあり、満員の客席からは盛んな拍手が送られていました。

一部ですが写真にて紹介します。

